

01

赤十字ユース委員会の概要

Purpose

赤十字ユース委員会は
日本赤十字社ユースボランティア
の活性化を目的に活動します

赤十字ユース委員会の2つの役割



日赤のユースと世界のユースの
パイプ役を務める



全国の日赤ユースと協力しながら
日赤ユースの課題解決に向けて
活動を行う

History

赤十字運動へのユースの参画が促進される世界の動きを受け、
2016年度に日本赤十字社内に赤十字ユース委員会を設立



Projects

赤十字ユース委員会として取り組むべき課題、委員として取り組みたいテーマを協議し、
現在は主に3つのプロジェクトチームが動いています



グローバルチーム

グローバルなイベントやキャンペーンへの日赤ユースの参加度を向上させ、国際的なネットワークの強化につなげる



研修チーム

国内の研修の状況を把握し、ボランティアにとって効果的な教育の場について検討する



PR推進チーム

日赤ユースのPR活動や情報共有における課題を解決する。赤十字ユース間の情報共有の機会を作る



(協議会担当者)

ユース委員会では、全ての青年赤十字奉仕団全国協議会委員（以降「全協委員」）が協力して活動できるようサポートし、毎年進化できる協議会していく担当者を置いている

02

活動報告

Project

グローバルチーム

活動の目的

グローバルチームは、日赤のユースと世界のユースボランティアの架け橋となり、国や地域を超えた赤十字・赤新月のネットワークづくりを目的に活動しています。

主な活動

- ・グローバルなイベント情報を日本語で発信
- ・グローバルなカンファレンスへの出席
- ・イベントの企画・運営
- ・日赤メンバーの関心づくり

メンバー



2022年度の活動実績

グローバルなイベント情報の発信

アジア太平洋地域やグローバルに開催されるワークショップやキャンペーン情報を、日本語に翻訳・案内用のバナー画像を作成し、Facebookページで情報発信・参加促進を行いました。

活動内容の事後発信

グローバルチームが関わっている活動を発信するnoteの開設。事後発信を行うことでイベントの様子を広く伝えていくよう取り組んでいきます。

https://note.com/jp_redcrossyouth/

今後の活動

- ・LINEオープンチャットでのイベント情報の発信
- ・noteを使ったグローバルイベント参加レポート
- ・赤十字ユース委員会メンバーの関心向上
- ・日本語で体験する国際赤十字のイベント

イベントやカンファレンスへの参加

地域別、分野別など様々な赤十字内の国際会議に出席し、議論への参加、会議の運営、人的ネットワークづくり、日赤ユースの活動発信を行っています。また会議以外のグローバルなイベントやキャンペーンにも委員自ら積極的に参加しています。

国内のグローバル赤十字への関心づくり

日赤ボランティアのグローバルな赤十字運動への関心向上のため、日本語で開催する国内イベントを企画。2021年度は国際をキーワードに活動するボランティアのクロストーク、ウクライナ人道危機に関する勉強会を開催しました。

Project

研修チーム

活動の目的

研修チームは、国内の研修状況を把握し、ユースの学びの場の質を向上させることでユースボランティア活動の活性化を図ることを目的に活動しています。

主な活動

- ・国内の研修内容を把握する
 - ・研修を企画・運営する
 - ・防災リーフレットの製作

メンバー



2022年度の活動実績



研修に関するアンケート 結果報告

赤十字ユース委員会
城間・岡田・橋本

2023年3月発行

[4] 赤十字ユース委員会における研修に関する今後の活動計画

①防災・減災に 関する研修の普及

- ・日赤防災セミナーのファシリテーターの養成を促すため雨潤活動に努める。
 - ・実施した研修の内容について、全国の日本赤十字社で共有する仕組みの活用に努める。
 - ・防災ボランティアなどと一緒に研修を実施し、愛護する機会を促進していく。

②リモート研修 の普及

- ・リモート研修の実施・検証を行い、リモート研修の手法を確立する。
 - ・リモート研修の形態を取り入れやすい環境を整備する。

③各研修の周知活動

- ・コロナ禍において6割の団体が研修を開催していた。この取り組みについてSNSなどで発信し、様々なユースが研修を知る機会を増やす。
 - ・支部報徳の研修についてはボランティアのニーズに即したものが多い。そのため積極的な受講を促す。

2022年度研修アンケートの完成

2022年8月に全青委向けにアンケートを取り、2022年度版の研修アンケートを作成しました。2019年度実施の研修アンケートと比較してみると防災・減災に関する活動や救急応急に関する活動のニーズは依然大きい。献血への関心や今話題のSDGs等の活動への関心も高まっていることがわかりました。



赤十字ボランティア・リーダー研修会 に講師として参加

本社主催リーダー研修の講師としてY ABCのファシリテーションや活動計画書作成などの講座を担当しました



リモート研修の継続

講師の調整や企画内容が募集期間内に整わずに活動を継続できませんでした

(写真について昨年度申請の附録・専録に関する研修)

今後の活動

・リモート研修の継続

- ・防災・減災リーフレットの作成・配布
 - ・研修教材共有場所の創出

Project

PR推進チーム

活動の目的

PR推進チームは、日赤ユースのPR活動や情報共有における課題解決を目的に活動しています。

主な活動

- ・日赤ユースによる効果的な情報共有、情報発信の実現
 - ・容易かつリアルタイムに情報へアクセスできる環境作り
 - ・日赤ユースのSNS上における活動のサポート
 - ・活動事例＆メンバー募集情報「あゆみ」の改善

メンバー



2021年度の活動実績



LINEオープンチャットの設立・運営

日赤ユース間の情報共有の場としては、これまでFacebookを活用してきましたが、ユース世代がより参加しやすい場を提供するため、新たな情報共有の場を設立しました。



「あゆみ」改善に向けた取り組み

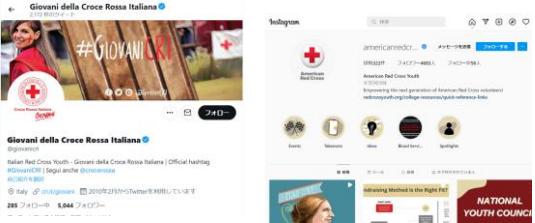
活動事例やメンバー募集情報を公開している「あゆみ」のページについて、昨年度の更新結果を確認したところ、いくつか改善すべき点が見つかりました。そこで、次回更新に向け、作成要領およびテンプレートを新たに作成しました。

今後の活動



各団が所有するSNSアカウントの収集

SNSアカウントの設立状況が全国的に共有されておらず。他の団がどのような発信活動をしているのか分かりにくい状況となっています。この改善のため、アカウント保有状況を調査しました。



SNSを用いた発信手法の調査・検討

SNSを利用したPRの方法について調査しました。今後は、国内の優良事例や海外ユースの活動例を参考に、SNSの運用手法について様々な情報共有を行う予定です。

- ・日赤ユースを代表した発信に関する検討
 - ・「あゆみ」更新に向けた取り組み
 - ・収集したSNSアカウント情報の共有

Project

協議会担当者

活動の目的

協議会チームは、青年赤十字奉仕団全国協議会（以降「全国協議会」）が毎年進化できる場にすること、全国協議会の認知度をあげることを目標に活動しています。

主な活動

- ・全国協議会やブロック協議会への参加
- ・年度を通して活動できる環境づくり
- ・全協委員、ブロック委員、赤十字ユース委員会、職員それぞれとの連絡調整
- ・年度をまたいだ協議のサポート

メンバー



2022年度の活動実績



事前WEB会議の開催

全協委員についての理解を深めること、全国にある課題を知り全国協議会で協議する議題を決める目的として開催しました。事前WEB会議をすることで全協委員が安心して1年間活動できました。



毎月WEB会議への参加

WEB会議に参加しています。全協委員が主体的に活動に取り組めるように、必要に応じて助言をしています。年度を超えて協議ができるように引継ぎ書の作成のサポートもしました。

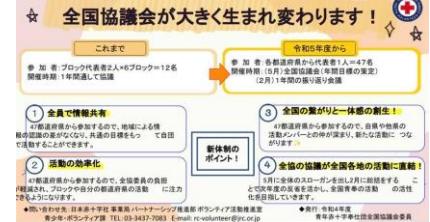
今後の活動

・2023年度からは全国協議会の体制が大きく変わることになりました。それに合わせてユース委員会はオブザーバーとしてかかわることになります。



全国協議会への参加

協議がスムーズに進行できるよう、進行や議事録のサポートを行いました。必要に応じて助言を行いました。この場では1年間の活動テーマを決め、それぞれが活動する出発点となりました。



全協の体制移行を調整

全協がより関わりやすく、より参加しやすい場となれるよう

2023年度より体制が大きく変わることになりました。

それに合わせて全協委員とともに様々な調整をしました。